

千葉県議会議員

高橋ひろしレポート



発行人：立憲民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場町1番5号 高橋 浩 事務所 〒292-0043 木更津市東太田1-9-30 TEL0438-98-0800 FAX0438-98-0833



会派を代表して趣旨説明(令和元年9月)

国民年金を底上げなし！議員だけ税金を使い 厚生年金に！！おかしいと思われませんか！！

この意見書については、今定例会の開会日において、議長から、全国議長会の報告の中で、「地方議員の厚生年金への加入を可能とする要請活動を実施している」旨の報告があった事、また全国議長会主催の「厚生年金への地方議員の加入を求める全国大会」が11月14日に開かれるとの事から**再度反対の発議をお願いするものであります。**

議員の年金制度においては、国民の中に議員に対する厚遇処置ではないか、また地方議会においては、市町村の合併や各市町村議員の定数削減、それによる被保険者の減少による積立金の枯渇が見込まれたため、国会議員年金が平成18年4月に、地方議員年金が平成23年6月に廃止されたものであります。

日本の年金制度は、1階として基礎

年金(国民年金)が、2階として厚生年金や共済年金があると言われ、現在の地方議員においては、基本的に1階部分の基礎年金のみの加入となっております。それを今回の案では、**各自治体にも負担させて厚生年金への加入を認めるとの事でありませぬ。**

今回の厚生年金への加入が決まった場合の**全国自治体の負担は、毎年200億円**にもなる試算があります。

本来年金とは、日本国に居住する国民が生涯にわたって安心して暮らしていけるための制度であります。その中で、基礎年金が最低限の年金額となっておりますが、今回、地方議員の年金を厚生年金への加入を可能にするという事は、**基礎年金では足りないとの事ではないか。**

もし足りないというのであれば、現在、医師、歯科医師、薬剤師、弁護士、司法書士、税理士、漁業者、農業者といった士業者らも行っている職能別の、国民年金基金の議員連合を造る方法もありますし、個人年金に加入する方法もある訳であります。**ましては、私達は選んで頂いた議員であります。**

国民の最低限の年金は基礎年金であり、その年金に多くの国民が加入して、受給、生活しております。その中で私達が今議員として先にやるべき事は、その基礎年金の底上げ拡充することであり、**私達だけが自治体の負担の基、恩恵を受ける事などは行いつべきではない**

と考えます。

皆さんも県議会議員として県民のために働くとの、志のなかで立候補をされてきたと思います。私の父も町会議員でありました。いつも「議員とは人のために働くものなんだぞ」と言われて育ちました。

その私が、県議会議員にならせて頂いて思う事は、今自分は大きく見えているのだろうか、と言いつ事でありませぬ。

私は子供のころ「市議会議員、すごいな、県議会議員、雲の上の人だ、国会議員、会える人ではないな」と、とても大きな人に見えていました。それと同様に、今の子どもたちに見えているのだろうか、と考える訳であります。

先日、NHKのアナザーストーリーズで、平成元年に決まった消費税の事の放映がされておりました。ご覧になられた方もいらっしゃるのではないかと思います。当初は「天下の悪税」と言われておりました。

国の財政を安定させたいと考える当時の大蔵省、そして国民に負担を強いる政策にしり込みをする政治家、その中で時の竹下総理が実現をさせました。しかし、その竹下政権もその影響で退陣となります。皆さんはその事をどの様に評価されるでしょうか。

私は政治家とは自分に厳しくなければならぬ、時に未来の為に身を呈して動かなければならない時があるのではないか、そして、その事を忘れてはな

らないのではないかと思う訳であります。

今回の台風15号の被災地を視察させて頂いた際にも、飛ばされてしまった自宅の屋根を呆然として見つめている女性がいっぱいいました。

国民、県民の生活を少しでも支える事が先ではないでしょうか。我慢できるのであれば、私達は最後であるべきではないでしょうか。

以上の事から、意見書を提出させて頂くものであります。皆様方におかれましては、今一度本趣旨をご理解いただき、賢明なご判断をお願いできればと考えます。

また 意見書が否決されてしまいました。

地方議員年金の「復活」に反対する意見書について (主要会派)				
自民党	立憲・千葉民	公明党	共産党	市・社・無
53人	19人	8人	2人	12人
反対	賛成	反対	反対	一部賛成

※市・社・無 市民ネット・社民・無所属

**議員が甘えてはいけません!!
これからも復活に反対する先頭で
意見を述べてまいります。**

台風15号・19号及び大雨の対応について問ひ質しました

12月代表質問（抜粋）

大規模停電について

高橋質問

今回の台風災害では停電により多くの関連被害が発生した。県は総合的な停電対策について、地域防災計画等で対策を講じ、減災のための対応を図るべきであると考えているがどうか。

森田知事

地球温暖化により、猛烈な台風の増加が懸念される中、この度の災害を教訓に、大規模停電による被害を最小化するための対策を検討し、県の地域防災計画等に盛り込むことを考えている。このため、国に対し、地域防災計画の基本となる「防災基本計画」の見直しを要望するとともに、現在、県が行っている検証の中で、



「大規模停電への対応等」を取り上げ、外部有識者の意見を踏まえ、対策の方向性などを取りまとめる予定である。

今後、国等の対策や県の検証結果などを基に、対応を検討のうえ、地域防災計画等の見直しを行い、大規模停電に対する取組を進めていく。

避難行動要支援者個別計画について

高橋質問

今回の二連の災害における各市町村での利用状況について調査し、より実効的な計画となるような改善を促すべきと考えているがどうか。

森田知事

今回の災害における、共助に関する活動状況を把握し、今後の地域防災力の向上に活かしていくため、県では、要配慮者への支援や避難所の運営・設置状況、地域における自主防災組織の活動状況などについて調査が必要と考えている。この中で、今回の災害における個別計画の利用状況について、有効であった事例や課題が生じた事例などをとりまとめ、市町村との共有を図るとともに、より実効性の高い計画の作成が進むよう、市町村の取組を支援していく。

災害廃棄物について

高橋質問

今回の二連の災害において、災害廃棄物の仮置場を設置した市町村数はいくつか。また、市町村の仮置場の運営管理に対して、県はどのような支援を行っているのか。

森田知事

今回の二連の災害においては、35の市町村で仮置場が設置された。県では、仮置場の設置管理に対し、台風15号の発災直後の9月11日から、順次、国の職員と合同で、これまでに30市町村へ赴き、助言を行ってきました。また、市町村からの要請を踏まえ、仮置場での運営支援、収集運搬についても、計12市町村に、延べ1,200人を超える職員を派遣するなどの支援を行いました。各市町村の仮置場については、適切に設置・運営されており、引き続き、災害廃棄物の処理が適正かつ円滑迅速に行われるよう被災市町村を支援していく。

中小企業支援について

高橋質問

被災した中小企業からは、どのような支援が求められているのか。また、県として、この声にどう対応していくのか。

森田知事

当面の運転資金や、事業再開資金の調達などに関する相談がありました。特に、工場や店舗の屋根やシャッター等の復旧費用に対する支援を求める声が、数多く寄せられました。こうした声を踏まえ、県では、被災施設等の復旧や事業再開に必要な費用を補助するための事業を、12月補正予算案に計上したところであり、これにより被災中小企業の再建を促進していく。

農業共済の加入について

高橋質問

今回の災害で重要となった農業共済への加入率はどうか。また、県では加入促進について、どのような取組を行っているのか。

森田知事

本県の農業共済の加入率は、水稲では約70%となっており、今回の災害で最も多くの被害を受けた園芸施設の共済では約45%、また、果樹の共済では約10%にとどまっている状況である。このため、県では、新聞や県民だよりによる広報を行っているほか、農業者向け会議における資料配布などにより、農業保険の必要性を説明し、加入を促しているところであり、今後も国や農業共済



要望
停電は電気がいかに重要であるかを示された。また、避難所についても日ごろからの体制づくりがいかに大切であるかが分かった。災害廃棄物については市町村への協力が不可欠である。中小企業支援では、南房総では観光客が半減したとの報道がされている。支援が必要である。県から11月21日に災害からの復旧復興に関する要望書が提出されたが、その対応を含めて様々な対策については是非スピード感を持って対応をお願いしたい。

9月10日の知事の行動について、秘書課職員の対応については、運転日誌への記載を失念するなど、事実と異なる説明があったとのことである。そのことは、知事の行動が理に合っていないければ、部下にもそれが連鎖する。そのことの表れだ

と私は考えている。これでは県民への信頼は得られない。

是非今後はこのようなことが無いよう徹底をお願いしたい。これからもっと強力な台風などが発生することも予想される。危機感を持って、起こってしまった事をきちんと検証し、災害復興を進めるとともに、次の天災に行政として備えていただきたい。

鋸南町に150万円の義援金

これは、私が昔働かせて頂いていた新日本空調株式会社から一番被害があったと思われる鋸南町に災害復興の為にお願いしたいとの話があり、私がご案内したものであります。

同期入社の田村関東支店長とともに白石町長にお渡ししました。白石町長には感謝の言葉を頂きました。

有効に使って頂きたいとともに人の繋がりが有難い事だと感じています。



鋸南町役場にて